

道東地区教会連合会機関誌



道東 46 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.46 Apr.,2021

天地の働きの中で

北見教会長・矢代千春

二十一世紀に及ぶ世界の長い歴史のうちには、大小にかかわらず数え切れないほどの多くの出来事がありました。その中をひと筋に貫き通して今に至るものは、人の生命の尊さを知り守ることです。金光教の願いの中心は、天地の命に生き、生かされている我々ということにあります。

○ コロナ禍が始まってから「繋がる」という言葉をよく耳にするようになりました。主に人と直接会えなくてもその関係は離れる事無く繋がっているということですが、実は目に見えるところから見えないところまで、

暮らしのすべては人も物も様々な分野で繋がっているからこそ成り立っているのです。しかし、その基本となる天地との繋がりについては当たり前すぎて改めて考えることは少ないように思います。

いうまでもなく天地との繋がりで最も大切なのは生命です。私達は地球上の生命の誕生からずっと繋がる生命を頂いていて、その生も死も天地から離れることはありません。尊い生命を頂いた人々が、痛ましい戦争の反省や自然災害などの苦勞を乗り越えながら、長い年月力を合わせて本当の人間らしい生き方、よりよ

い暮らし方を求めて、何もないところから様々なものや事柄を作りあげてきました。

しかし、発展し続ける文化文明は国と国の争いや地球環境の悪化や新たな感染症も生み出しましたが、それらもまたすべて天地の働きの中で繋がっています。一人一人の考え方や行いが、自分や他人はもちろん地域や国、更には地球全体も生かし守り、未来に繋がることを忘れてはなりません。今も世界中ではコロナや紛争、また様々な事情で次々に命を落とす人々がいいます。後に残る者達にどんなことを願いながら、何を託して

令和3年度連語会研修会

「神人あいよかけよの生活運動」 道東地区集会

月日 11月23日(火・祝)

場所 網走教会もしくは北見教会

詳細は後日お知らせします

亡くなっていくのか、その思いに心を寄せる時、私達が今「生かされて生きている」本当の意味を知ることになるのかもしれない。
天地の働きのすべてに耳を澄まし、その声なき声に耳を傾けながら、互いの命を尊び合って明るく希望に満ちた明日を目指しましょう。

教会掲示板

教会からあれこれ

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

コロナ禍が始まって一年余り、我が国のみならず世界中では多くの人々が亡くなっている、やがて三百万人に至るともいわれています。また、連日のように中東や東アジアなどの紛争で犠牲者が多数出ているとの報道もあります。そんな中、コロナに関する街頭インタビューで二人の若い女性が「身近に感染した人も亡くなった人もないので、そんなに危機感がないの」と明るく話しているのを聞いて、今時の軽さ？に驚きました。
しかし、改めて考えてみれば、

ば、今まで大きな災害や思いがけない事故や事件に巻き込まれて亡くなった多くの人々を心から悼む気持ちはもちろんありましたが、どこか人ごとという感じがあつたことは否めません。体験しないとはわからない愚かさといえるでしょう。戦争や病気、祖父母との同居などで死が常に身近にあった昔とは違い、いまは医療や科学技術などの文化文明の発達で、死は化粧を施されたように隠され遠ざけられてその重大さを実感しにくくなっています。それは同時に、生きるということも実感できなくなっているということかもしれません。

残念なことに、最近世間を騒がせる多くのことには人が生きることの喜びや充実感が感じられません。しか

し、それらに惑わされるところなく、大切な命を甲斐あるものにするために懸命に生きている人々の姿があることを、そして私達はそれが人の生きる本当の姿であることを知っています。喜びも悲しみも怒りも不安も生命あればこそ、今「生かされている」ことへの感謝こそが明日へ通じる希望になることを信じて、前を向いて進みたいと願っています。

(矢代)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―三六一

『男は消える運命』

令和3年4月7日の卓上四季に、Y染色体は退化し続けやがて消える運命、と

言う記事が載っていました。大変面白く、そうなんだと感心してしまいました。

無論、今、いま直ぐではなく、何万年か先の話だそうだが、こういう記事を読んでいますと、金光教祖様が、「人間は勝手なものである。生まれる時には日柄の良し悪しも何も言わないで出て来ていながら、真ん中の時だけ何のかのと勝手なことを言つて、死ぬる時には日柄も何も言わないで駆けつていつてしまう（天地は語る74）」と、青井サキが伝えていますが、本当に天地の働きと言うことに眼を据えて考えますと、日本社会の日柄方位は、やっと抜け出そうとしているようですが、女性天皇や女性宮家とかから始まって、夫婦別姓や男女格差など、もっ

ともっと大きな視点で考えてもらいたいと思う。

生物学的に言えば、と断っています。ヒトは女性が原型で、男性は後から作り出されたものという。そしてY染色体が退化し、男がいなくなつて女性社会が出現するのか。北大学院理学研究院の黒岩麻里教授によると、奄美大島にすむ国の天然記念物アマミトゲネズミには、男性を決める遺伝子を持つY染色体が無いという。それでオスがいないかという、オスはいるというのです。このアマミトゲネズミは、Y遺伝子とはちがう別の染色体の中に、新たな性決定を決める遺伝子をつくり「進化」したといひます。

人間社会もだんだんこうなつていくのか。アマミトゲネズミのように、そういう

進化の手段になれば良いのだが、どうなつていくことやら。生きているものは必ず動いている。動いているものは必ず進化していくようだ。その進化がどうなつていくものか、いろいろ疑問になるが、生かされて生きている間は、金光教祖様のように、本当のものは何か、と求め続けて行きたいものだ。

(江郷)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三三―六八三五
FAX 〇一五五―三三―六八三五

今年も新型コロナウイルスの収束の兆しが見られず、逆に大都市では「まん延防止等重点措置」がとられ不要不急の措置がとられています。北海道でも少しづつでありますが増加現象にあるように思われます。また、変異ウ

イルスも増加しております。個々人でできるマスク着用、消毒、手洗い、三密を避ける行動を徹底して行かなければと思います。また教会においても喚起などを施し感染防止に努めて行くことが必要です。ようやく六月末ごろには高齢者を優先的にワクチンの接種も行われるようであります。安心安全のために早急な対策が望まれます。このような社会状況が続きますが、今年も天地金乃神の働き、恵みを頂いて、変わることなく新しいのちが芽吹く季節になりました。境内にはいつもより早い福寿草の開花、アイヌネギも出始め、桜のつぼみもふくらみ始めました。天地は語る第一節「天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また

草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである」とあります。天地の恵み空気、光、水、熱があつてこそ私たち人間、草木すべてが生きられるのです。あることが当たり前と思わず、神様の恵みとして感謝する心を持ちたいと思います。神様の恵み、働きを感じるおかげを蒙つてまいりたいと祈念しております。

三月二十六日に金光平輝様が教主をご退任され、翌二十七日、教主に金光浩道様がご就任されました。新しい教主金光様を迎え御本部では四日、七日、十日と三日にわたり、天地金乃神大祭並びに教主就任報告祭を仕えられました。ありがたいこととお礼申し上げます。

ご本部大祭のご比礼を頂いて「神人の道」が現れる帯広教会布教99年の天地金乃神大祭を仕えさせていただきませう。このたびも教会連合会の大祭交流は行われませんが、それぞれが願ひ合い、支え合い頼み合いをしておかげを蒙つてまいりたいと思ひます。

改めて今できることを考え、天地の大恩、そして今日のいのちをいただいたことに對してお礼の御祭りを心を込め仕えたいと思ひます。

(田中)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二四三三三九五
FAX 〇一五二四三三三九五

網走教会責任役員、信徒総代、信奉者にはご不便をかけしておりますが、お祈り添えて

お世話を頂いき教会をお守りくださいましたことにお礼申し上げます。また道東地区の各教会の方々にはご心配とご配慮頂きお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス拡大防止のため教会活動の中止、延期など支障もありましたが、ご都合お繰り合わせを頂いて今日まで月例祭、生神金光大神大祭、越年祭、新年祭、靈祭りなど教会ご用ができましたことは誠にありがとうございますことと改めてお礼申し上げます。信奉者家族として一人一人が信心しておかげを蒙るような教会ご用をさせていただきたいと思ひます。

網走教会は令和5年に布教100年を迎えます。そのために願いを立て、諸準備を進めております。まず南側

廊下のガラス戸を壁とサッシに変更、トイレなどの窓もサッシに替えました。壁の変更、サッシにすることによりかなり教会広前の暖かさが保つようになります。ありがたいことです。信奉者の高齢化もあり教会活動に支障のないよう必要な手立てを講じて生きたいと願つていくところです。

今年の春は早く天都山桜公園の桜の見頃は5月初旬から中旬だそうです。教会の前の桜の開花も同じ時期と思われまふ。花見といきたいところですが控えなければと思ひます。

しかし、世の中コロナ禍でありまふが、天地の恵みは変わることなく私たちに注いでくださいます。ありがたいことです。

この度の網走教会 天地

金乃神大祭は、手洗い、消毒、マスク着用、三密を避け当教会信奉者のみで大祭を仕えさせていただきます。隣接教会の交流は行わないことになりました。また、大祭終了後は直会はいりません。どうぞご理解をいただきますようお願いいたします。

(田中)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七一一一三三三
FAX 〇一五五七一四二二三

昨年、十勝教会は教会設立百年を迎えました。移り変わりの激しい世の中で、この地に百年も金光教の教会が続いてきたことは、本当にすごいことだとあらためて思うところであります。

残念ながら記念祭はコロ

ナの影響で延期になりましたが、今年六月二十日、心あたたかに記念祭をお仕えいたします。よろしくお願いいたします。

さて、そのコロナウィルスですが、未だ収束に向かう気が配すら見えません。ワクチンが行き届くまでは、相変わらず「三密」回避や「マスク」励行など、個人の努力以外の感染対策がないのが実情です。「〇〇さん、これでいいのか！責任を果たせ！」と叫びたくなりますが、叫んでもどうしようも無いですからね。

そこで、個人でできる対策の一環として自主的にPCR検査を受けてきました。

と言っても私が出向している北海道教務センター（金光教本部の出先機関）の職員全員で受けることになっ

たのですけね（一人一回三〇〇〇円ですって）。

結果は全員「低リスク」いわゆる「陰性」。自分が感染して無いのが分かったし、周囲の人にうつしていないのも分かったので、よかった。

自分が周囲の人にうつしていないことがわかる。これだけでも検査を受けるメリットはあると思いますが、でもね、「じゃあ「陰性」だと他になにか良いことあるの？」と聞かれると、「別にない」というのが正直なところですよ。

例えばマスク。「私は陰性です。だからマスクをしなくてもいいのです」と言っても「マスクをしないお客様の入店はお断りします」というお店には入れてもらえないでしょうし、マスクを着けずに

満員電車に乗ったら白い目で見られるでしょう。いくら「私は陰性だからマスクをしなくても大丈夫」と言っても周囲がそれを許してくれなければマスクは外せません。

世間全体が「不安」を抱えたなかでは、自分だけ安心できたつもりでも、本当の安心にはなっていないということでしょうね。

一日も早く「みんなが安心できる」よう神様に願うばかりです。

(玉置)

お知らせ

今年度の「連合会交流会」は、諸般の事情により中止します。

行事報告

▼令和二年 役員会

日時 令和二年十一月二十三日(月) 午前十時三十分

場所 北見教会

内容 令和二年度連合会活動と予算執行状況について
次年度総会について

出席者 連合会役員(会長、副会長、教師委員二名、

信徒委員三名)

▼令和三年度 総会

日時 令和三年三月十八日(木) 午後一時

場所 釧路教会

内容 令和二年度連合会活動報告・決算報告
令和三年度連合会行事予定・予算案出席者 会長、副会長、教師委員二名、信徒委員六名
運動推進員

この総会で、春の大祭交流の中止、連合会研修会を十一月二十三日に開催すること、今年度は交流会を行わないことが決定されました。

春秋の大祭日程

春

秋

釧路 5月23日 10月24日

北見 5月 3日 11月 3日

十勝 4月18日 11月21日

帯広 4月25日 11月 7日

網走 5月16日 10月17日

十勝教会設立100年記念祭 6月20日

※春の大祭交流は中止します。

※秋の大祭交流については後日ご案内いたします

道東地区教会連合会ホームページ
(PC用)<http://kontoka.webcrow.jp/doto>